

百万一心、未来へつなぐ安芸高田市



あきたかた

議会だより



第84号

2025(令和7)年2月15日発行



安芸高田市
市議会 HP

「初日の出」
甲田地区水辺の楽校より平佐山を望む

CONTENTS もくじ

賛否表	3
新議会の紹介	4~5
定例会	12/11~12/24	
本会議 (12/11・16・24) まとめ	6~7
予算決算常任委員会 (12/12) 令和6年度補正予算	8
産業厚生常任委員会 (12/19)	9
総務文教常任委員会 (12/20)	10~11
本会議 (12/16・17) 一般質問	12~18
臨時会 (11/28)	19
議会の動き	18
芸北広域環境施設組合議会	20
政務活動費収支報告	21
傍聴へ行ってみよう	22

本会議等のYouTube配信を実施しています

安芸高田市議会では、市民に開かれた議会を目指し、YouTube（ユーチューブ）の映像配信サービスを利用して、市議会（定例会・臨時会・常任委員会・特別委員会（議会広報特別委員会を除く））における会議の様子をインターネット中継しています。



YouTubeはこちら

議会だよりは無料アプリ
「Catalog Pocket（カタログポケット）」
でもご覧になれます。

議会だより第84号へのリンク



賛否表

賛否が分かれた議案

種類	番号	議案名	議員名	佐々木智之	熊高慎二	浅枝久美子	南澤克彦	新田和明	穴戸邦夫	金行哲昭	秋田雅朝	益田一磨	小松かずみ	山本数博	山根温子	児玉史則	大下正幸	熊高昌三	石飛慶久	審査結果	議決日
				委員会	産業厚生常任委員会						総務文教常任委員会										
令和6年第4回 定例会 (12月11日~12月24日)																					
議案	第85号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	*	可決	12/16
発議	第5号	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	*	可決	12/16

*…議長は採決に参加しません。 ○…賛成 ●…反対
 ※…第4回定例会時点では、会派はありません。

全員賛成の議案 ※議長を除く

令和6年第4回 定例会 (12月11日~12月24日)																					
同意	第5号	監査委員の選任の同意について	議案	第81号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)																
議案	第71号	事務分掌条例の一部を改正する条例	議案	第82号	令和6年度コミュニティ・プラント整備事業特別会計補正予算(第1号)																
議案	第72号	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	議案	第83号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第2号)																
議案	第73号	まちづくり支援センター設置及び管理条例及び子育て支援センター設置及び管理条例を廃止する条例	議案	第84号	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例																
議案	第74号	公の施設の指定管理者の指定について	議案	第86号	令和6年度一般会計補正予算(第11号)																
議案	第75号	和解について	議案	第87号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)																
議案	第76号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	議案	第88号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第3号)																
議案	第77号	土師ダム周辺環境整備施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	議案	第89号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第3号)																
議案	第78号	令和6年度一般会計補正予算(第10号)	議案	第90号	令和6年度一般会計補正予算(第12号)																
議案	第79号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	発議	第6号	核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を日本政府に求める意見書について																
議案	第80号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	発議	第7号	持続可能な学校の実現をめざす意見書について																
令和6年第4回 臨時会 (11月28日)																					
承認	第8号	専決処分した事件の承認について【令和6年度一般会計補正予算(第8号)】																			
承認	第9号	専決処分した事件の承認について【令和6年度一般会計補正予算(第9号)】																			
発議	第4号	監査請求に関する決議について(南澤議員は除斥)																			

※議案名の“安芸高田市”は省略



議案の詳細はこちら▶

新体制

12月より

議長 石飛 慶久



寛容の精神で接し、お互いの意見を尊重し、融合し結論・合意点を導き出す、対立構造と言われな
い、16名の議員で形成された誇れる議会を目指します。



安芸高田市議場にて

上段、左から

児玉 史則、小松 かすみ、南澤 克彦、石飛 慶久、秋田 雅朝、山根 温子、大下 正幸

下段、左から

益田 一磨、佐々木 智之、山本 数博、熊高 昌三、穴戸 邦夫、金行 哲昭、新田 和明、浅枝 久美子、熊高 慎二

議長と副議長の役割

議長は、議場の秩序保持、議事の整理、議会事務の統理をし、議会を代表する権限を有しています。副議長は、議長に事故や議長が欠けたときに議長の職務を行います。

常任委員会の役割

多数の議案等の審議を本会議において全議員で進めるより、議会の内部に複数の常任委員会を設けて分担して行うことがより能率的・効果的です。そのため、議員は常任委員会に所属をし、分担されている所管に従って専門的に議案等の審査や調査を行います。本市議会は、同じ常任委員会に2年間在任します。

議会

令和6年

副議長
秋田 雅朝



「市民から信頼される議会」を目指し、市民との意見交換会や議員間討議等で見識を高め、常に議員各位の意見を反映した議会となるよう全力を尽くす所存です。

監査委員

穴戸 邦夫

芸北広域環境施設組合
議会議員

佐々木智之
浅枝久美子
山根 温子
石飛 慶久
金行 哲昭

広島県後期高齢者医療
広域連合議会議員

南澤 克彦

広島県水道広域連合
企業団議会議員

南澤 克彦

総務文教常任委員会

<所管>

危機管理監、総務部、企画部、会計課、議会議務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部、教育委員会

委員	副委員	委員
山根 温子	小松かすみ	益田 一磨
山本 数博	児玉 史則	大下 正幸
熊高 昌三	石飛 慶久	

産業厚生常任委員会

<所管>

市民部、福祉保健部、福祉事務所、産業部、建設部、農業委員会

委員	副委員	委員
南澤 克彦	新田 和明	佐々木智之
熊高 慎二	浅枝久美子	穴戸 邦夫
金行 哲昭	秋田 雅朝	

予算決算常任委員会

<所管>

予算及び決算に関する事項

委員	副委員	委員
児玉 史則	山本 数博	議長を除く 全議員

※決算審査は監査委員を除く

議会運営委員会

<所管>

定例会・臨時会の会期の調整や日程事項、質問者の順序の調整等、円滑な議会運営全般について協議、意見調整

委員	副委員	委員
大下 正幸	熊高 昌三	南澤 克彦
山根 温子	児玉 史則	金行 哲昭

議会広報特別委員会

<所管>

市民の皆様には議会と市政への理解を深めていただくため、議会の活動状況や審議内容を広く周知する議会だよりの発行

委員	副委員	委員
小松かすみ	新田 和明	益田 一磨
浅枝久美子	佐々木智之	山本 数博

12月16日 議案第86号
一般会計に補正予算額 1億1114万1千円を追加

予算総額 203億7623万2千円

可 決

— 主な議案審議 —

■議案第76号

○個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
令和6年12月2日から現行の健康保険証の新規発行が終了することに伴い、福祉医療事務において個人番号を利用し医療保険の資格情報を取得

するため、条例の一部を改正するもの

可 決

■議案第84号

○職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に基づく民間給与との格差を是正するため、

所要の改正を行うもの
(要旨)

一般職及び任期付職員について、令和6年の人事院勧告を踏まえ、民間給与との格差を是正するため、給料表の引上げと期末勤勉手当の支給月数の引上げを行うもの

可 決

■議案第85号

○特別職の職員で常勤のもの
の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
(要旨)

特別職の職員で常勤のもの
の期末手当の支給月数の引上げについて所要の改正を行うもの

— 討 論 —

反対討論

山根 人事院勧告制度は、労働基本権が制約されている公務員に適正な処遇を確保しようとするもの。本市では一般職員を対象とするが、期末手当などボーナスは、職員の生活を維持するという建前の上
に支給されるもので、特別職の給与はその職務の特殊性に
応じて決定され、生活給的な要素は考慮されず、その職務
に対する一切の給付を含めた
対価であるとも言われている。
市の状況が大変厳しいなかで、
一般職の引上げに合わせる市長等の特別職の引上げ
には反対とする。

可 決

■議案第86号

○令和6年度一般会計補正予算(第11号)

改正された給与条例等による
給料月額や期末勤勉手当の
支給月数の引上げの人員費、
人件費増額に伴う下水道事業
会計補助金や特別会計繰出金
の増額を追加するもの

12月24日 議案第90号
一般会計に補正予算額1億6457万9千円を追加

予算総額 205億4081万1千円

可 決

と、市独自事業として、住民
税均等割のみ課税世帯を対象
とするもの
支給金額
1世帯当たり3万円(子
どもがいる世帯へは子ども
1人当たり2万円を追加)
対象世帯・支給時期
5100世帯(見込)
支給開始：2月下旬(予定)

■質疑

金行 今年度実施された食料品等の価格高騰重点支援給付事業で給付となつて
いるが、追加給付として理
解でいいか。

福祉保健部長 このたびの
給付金は、これまで給付さ
れた方についても、追加し
て給付する

■同意第5号

○監査委員の選任の同意
宍戸 邦夫議員

承認

■ 発議第5号

○ 議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(提案理由)

令和6年人事院勧告では、民間の特別職の支給割合との均衡を図るため、期末手当の支給月数を0・1か月分引き上げ、4・60月分とし、本年度については、12月期の期末手当で引き上げ、令和7年度以降においては、6月及び12月期の期末手当が均等になるよう配分するもの

一 討 論 一

反対討論

山根 市の財政は、3年連続で財政調整基金をはじめとする、各種基金を取り崩して対処している状況。物価高騰や生活に向き合っている市民と共にあるべき。市議会議員のボーナス引上げは反対とする。

益田 財政健全化を進める立場を鑑みたととき、自身の報酬手当を引き上げるといふのは安易に賛成できない。

手当を下げる分にはスピード感は大切と考えるが、上げる分には、今回の任期4年間を待ってからでもよいのでは。

少なくとも議員の手当に関しては慎重に判断するべき。

賛成討論

熊高(昌) 市の財政、厳しいものがある。

だからこそ職員あるいは特別職、そして我々議会もその報酬に見合うような活動をすべきと考え、賛成する。

可 決

■ 発議第6号

○ 核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を日本政府に求める意見書
(提案理由)

ウクライナに軍事侵攻したロシアが、核兵器の使用をちらつかせるなどの威嚇を行い、人類はかつてないほどの核の脅威にさらされている。唯一の戦争被爆国であり、核保有国と非保有国との橋渡しを目指す日本が、多くの非保有国で構成される締約国会議にオブザーバー参加することにより、非保有国と意思疎通を図り、そのメッセージを核保有国に伝える重要な役割を果たすことができる。

そのため、政府に対し「核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を日本政府に求める意見書」を提出するもの

可 決



発議第6号の全会一致の議決



12/11 本会議



12/16 本会議



12/24 本会議

令和6年度

議案第78号 一般会計

補正予算審査

補正額 8003万7千円を追加

(予算総額) 202億6509万1千円 **可決**

補正の主な内容

①通常分

減額分…地方交付税 (△ 116,028 千円)、ふるさと応援基金積立金 (△ 100,000 千円)、ふるさと応援寄付推進事業費 (△ 51,968 千円)

増額分…児童手当給付事業費 (69,480 千円)、生活保護扶助費 (31,070 千円) 教育委員会事務局の追録図書費 (17,329 千円)

②災害関連

増額分…11月の大雨災害に伴う農地農業用施設関係補助金 (1,000 千円)

— 主な質疑 —

《企画部》【政策企画課】

認定こども園基本構想作成委託料の減額について

熊高(昌) 今後は基本構想が必要なのですか。

部長 旧田んぼアート公園跡地に認定こども園を作るため予算を計上したものである。その後、市長が交代し、認定こども園を吉田地区に通常の形で建設する方針となり、基本構想は必要ないと判断したため減額した。

定住促進事業費の高校応援プロジェクト補助金について

山本 当初予算に計上しない理由は。

課長 昨年からの取り組みで、生徒会長の任期の夏にあわせ、使途の報告と次年度の事業計画の報告を受け、今後の方向

性を協議し、成果を見定めた上で決定するため、当初予算では計上しなかった。

部長 動機づけの側面からも、今後も補正予算で行いたい。

《企画部》【財政課】

地方交付税の減額について

南澤 基準財政需要額の見込み違いとのことだが、詳細を伺う。

課長 個別算定経費のうち、公債費と下水道費を誤って令和5年度の算定ルールを用いて算出し、過大に見積もりしたことが原因である。制度改正による算定ルールを今一度確認しながら次年度予算にむけて算定していきたい。

《福祉保健部》【社会福祉課】

生活保護扶助費の増額について

熊高(昌) どのような見込みになっているのか伺う。

課長 医療扶助及び介護扶助費の実績見込みから増額を見込んだ。考えられる理由として、高齢世帯が多いことが要因の一つと考えている。

《教育委員会》【学校教育課】
指導者用デジタル教科書購入について

小松 当初予算でなく補正予算になった理由は。

課長 2025年度から中学校で使用する教科書の採択を夏に行っており、当初予算の編成の時期にどの会社の教科書にするか決まっていなかったため、今回の補正となった。



12/12
予算決算
常任委員会



12/19
産業厚生常任委員会

- 議案審査
- 和解について
- 土師ダム周辺環境整備施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 審査した陳情
- なし
- 所管事務調査
- なし
- 報告事項
- こども家庭センターについて

議案の審査

議案第75号

○和解について

市民課窓口において、原告が改正原戸籍の交付請求を行った際の市職員の行為について、市に職務上の注意義務違反及び行政指導違反があるとして、損害賠償及び訴訟費用を求める訴えが提起され、この度、裁判所から本市と原告の双方に対し和解の勧めがあり、和解条項の内容が市にとって有益な内容であることから和解を成立させるもの

■質疑

熊高(慎) 和解事項に、訴訟費用は各自の負担とするところが、市の負担金額は。

市民部長 現在係争中であり、費用は確定していない。

佐々木 事件の原因がミスであつた場合、再発防止等の対策は。

市民部長 元来より、戸籍法や法務局の各種通知などルールに基づいて適切に事務執行している認識。今後も同様に適切な事務処理に努める。

可決

議案第77号

○土師ダム周辺環境整備施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

土師ダムサイクリングターミナルでの貸出自転車利用料金について、電動アシスト自転車の利用料金の追加、及び普通自転車、その他自転車の貸出時間の単位と料金を利用実態に即して改正するもの

■質疑

浅枝 指定管理者が設定している利用料金が、改正前の料金に達していないが、なぜ今回改正されるのか。

商工観光課長 今後利用料金が高くなることを想定し、上限を上げた。

秋田 料金改正について、近隣施設を参考にしたとあるが、どこを参考にしたのか伺う。

商工観光課長 道の駅世羅や、大朝、しまなみ海道の因島などの施設と比較検討した。

新田 土師ダムサイクリングターミナルの自転車の入替えを市が進めるということで理解し

てよいか。

商工観光課長 現状は指定管理者が更新している状況。しかし、全てを民間にお願いするのも難しいと思うので、今後は検討しながら進めていく。

浅枝 利用料金について、指定管理者と相談したのか。

商工観光課長 利用料金は指定管理者が設定するが、上限は市で調整した。

可決

報告事項

○こども家庭センターについて

■概要

令和4年の児童福祉法改正により、各自治体は、こども家庭センターの設置に努めることとされており、本市においても福祉保健部内に設置するもの(要旨)

乳幼児の子育てに困難を抱える家庭に対しては、両機関の一体的な支援が必要であるにもかかわらず、児童福祉法と母子保健法、それぞれの根拠規定に基づく異なる機関であつたため、タイムリーな連携がとりにくい

という難点があつた。こども家庭センターの創設により、相談者の利便性と担当職員の連携を強化することで、支援力の向上を図り、より実効性のある相談支援体制とするもの

■設置時期

令和7年4月1日

■質疑

秋田 健康長寿課健康推進係が一緒になるとして人員は減るのか。

福祉保健部長 児童福祉係所管している一部の事業を今の保育係に移行するため、人員については、若干の減少が有ると想定している。

浅枝 里帰りの妊婦にも対応されるのか。

健康長寿課長 里帰りの方も相談があれば受けている。また母子保健法に規定されている1歳半健診、及び3歳児健診については、住所があるところから依頼があれば受けることができる。

- 議案審査 ○事務分掌条例の一部を改正する条例
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 審査した陳情 ○持続可能な学校の実現を目指す実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書について
- 所管事務調査 ○地域公共交通利便増進実施計画について
- 学校規模適正化事業について
- 報告事項 ○公有財産の売却について
- J R再構築協議会及び広島まちづくり交通協議会の取組状況について



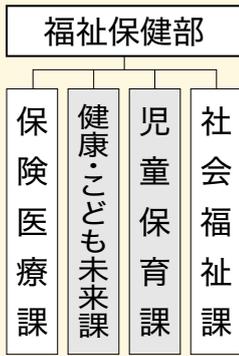
12/20
総務文教常任委員会

一 議案の審査

議案第71号
○事務分掌条例の一部を改正する条例

児童福祉法の改正により、設置が努力義務とされたことも家庭センターを、設置することに伴い、組織及び分掌事務の見直しを行うもの(要旨)

こども家庭センターは、健康・こども未来課が運営を担い、児童保育課と連携し、効率的、効果的な運営を行う。また、市民が混乱なく相談できるよう、担当窓口を分かりやすくするため、健康長寿課と子育て支援課の名称を改正するもの



■質疑
熊高(昌) 健康長寿の「長寿」という言葉は高齢者をイ

メージするが、健康・こども未来課は「生まれてから亡くなるまで」という長期のプランがあり、そこがうまく高齢者に伝わるのか。丁寧に伝えるべきと思うが、今後の取組について考えを伺う。

市長 具体的に保育の関係はこちら、母子医療についてはこちら、とイメージしやすいよう補足し、広報・ホームページで周知したいと考えている。

■施行日
令和7年4月1日

可決

議案第74号
○公の施設の指定管理者の指定

公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例の規定により、指定管理者候補者の選定について、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるもの

番号	施設名	指定期間	
		前回	今回
⑪	美土里町神楽門前湯治村	1年	3年
⑫	道の駅北の関宿安芸高田	1年	3年
⑬	たかみや湯の森	1年	3年
⑭	エコミュージアム川根	1年	3年
⑮	吉田運動公園	3年	3年
⑯	温水プール	3年	1年
⑰	八千代 B&G 海洋センター	3年	3年
⑱	美土里 B&G 海洋センター	3年	3年
⑲	高宮 B&G 海洋センター	3年	3年

番号	施設名	指定期間	
		前回	今回
①	サッカー公園	3年	5年
②	吉田口プラットフォーム	1年	3年
③	多文化共生推進拠点施設	1年	3年
④	ふれあいセンターこうだ	1年	1年
⑤	吉田保育所	5年	2年
⑥	向原農村交流会館やすらぎ	1年	1年
⑦	高宮大狩山河川公園	1年	3年
⑧	道の駅三矢の里あきたかた	1年	3年
⑨	土師ダム周辺環境整備施設	1年	3年
⑩	八千代地域振興施設フォルテ	1年	3年

■質疑
山本 指定期間が1年のものについて、1年間様子を見て、良ければ以前どおりの指定管理をするという説明だったが、1年のものが再度1年となったのはどういう理由か。

地域福祉係長 ④は指定管理を受けている社協が、もう1年、経営状況を見て継続管理を行いたいと話があり、延長した。

地域営農課長 ⑥は、総合管理計画の中で、令和8年で譲渡対象の施設となっており、1年の指定管理とした。

生涯学習課長 ⑯は昨年度から指定管理者と教育委員会にて、コロナ禍により減少した利用者をどう戻していくか、老朽化等による施設の維持管理方法などの検討を重ね、引き続き中長期的な施設運営を検討するため、1年間での指定管理とした。

小松 指定管理が1年から3年に延びた施設について、その理由を伺う。

商工観光課長 主なものとして、7施設(⑧⑬⑭)については、厳しい財政状況の中、運営面で固定化・マンネリ化しないよう、昨年度と今年度の2年間、指定管理期間を単年度とした。この間、経営改

善を行っており、一定の効果が出た。今後も中長期的な計画のもと、安定した経営を継続するため、来年度から指定期間を3年として管理運営を行う方針で調整した。

児玉 この指定管理料も、シーリングの対象となると思うが、金額の提示がないため、指定管理者の指定を審査するのが非常に難しい。どうお考えか。

企画部長 以前は、この指定管理の議案についても2月に予算と一緒に提案をしていたが、2月の最終日に議決となれば、事務に支障が出る場合があるとの課題があり、12月に指定管理の議案を通して準備する形に改めた。金額面については新年度予算でしか出せないため、審査が難しいとは思っている。この課題については今後検討する。

益田 吉田保育所について、今まで5年の指定管理期間が、2年になったが、説明を求め

子育て支援課長 現在、吉田保育所、みつや保育所、吉田幼稚園の統合整備事業を計画しており、この事業の進捗状況によって、2027年度以降の指定管理期間を定めたいということ、みつや保育所と合わせるため、2年とした。

可決

一陳情・要望一

○持続可能な学校の実現を目指す意見書

(陳情者)

広島県教職員組合

山県・安芸高田市区

委員長 増川 美和子

(要旨)

国の関係機関に、持続可能な学校の実現と子どもたちのゆたかな学びの保障のため、学校の長時間労働は正に資する政策実行を求める陳情(以下、抜粋)

学校の働き方改革推進のため、以下の事項を実施すること。

1. 教職員の負担軽減をはかる観点から、国として具体

的業務削減策を示すこと。

(1) 部活動の地域移行をさらにすすめること。

(2) 「カリキュラム・オーバード」の実態にあることから、学習指導要領の内容の精選やそれに伴う標準授業時数の削減等を行うこと。

2. 教職員定数改善を実施すること。

3. 自治体でのとりくみが確実にすすむよう、人の配置・確保も含め、推進のための必要な財源確保等を行うこと。

4. 教員のいのちと健康が守られる法制度の整備をはかること。

5. 今後、勤務実態調査を行った上で、その結果に基づき必要な措置を講ずること。

採択

(理由) 本市の状況はこの訴えのとおりであり、必要であると判断した。

一所管事務調査一

○地域公共交通利便増進実施計画

■調査目的

過去の委員会での所管事務調査にて、「地域公共交通計画」について所管事務調査をした際「利便増進実施計画を作っており、そちらで検証していく」とあったが、その後計画についての報告がないため、調査を行うもの。

■調査結果

市の地域公共交通計画に基づき、路線全体を見直し、持続可能な移動手段の確保と、利便性向上による利用促進を図るため、具体的な事業の実施計画を定めた。計画期間は2023年から2027年の5年間。

○学校規模適正化事業

■調査目的

前市長時に中学校統合について具体案やスケジュールが示されたが、市長の交代後、本市の当事業の取り組みの進捗を明らかにするため調査を行うもの。

■調査結果

中学校統合について広く意見を聞くため、市民及び生徒との対話集会を実施し、市長と教育委員会との意見調整後に、パブリックコメントで提出された意見を考慮し、第3期学校規模適正化推進計画を策定予定。



甲田堆肥センター（甲田町稼地）

市長 この戦略に基づき広島県と県内23市町と共同で「広島県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」が策定され現在進行中。土づくりや化学肥料の使用量低減に向け堆肥を活用した有機農業の推進についての考えは。

市長 環境負荷に配慮した健康的な土づくりは大変重要だ。そのうえで堆肥を活用した有機農業は有効な手段と考えている。

市長 令和8年度には譲渡を予定しているが、安易に譲渡して、例えば維持が困難になったときに堆肥が野積みになることで新たな課題も出てくると思うので、その辺もじっくり検討しながら進めたい。

市長 農林業は市にとって大切な分野。しっかりと考えていきたい。

市長 農林業は市にとって大切な分野。しっかりと考えていきたい。



宍戸 邦夫
(無所属)

この項目について質問しました
①みどりの食料システム戦略と農業振興について



早急に整備が必要とされる人工林と天然林

市長 民地であるため公的に関わる事に限りはありますが、所有者自ら施用を行う意思のない人工林は「森林経営管理事業の推進」など方針に沿って行う。

市長 財源確保のためにご提案いただいたネーミングライツ（公共物へ愛称の命名権）の件、考えていきたい。

市長 返礼品として支援型といった農業や林業に支援していくことや、体験型で手伝っていたり、たくさん考えていきたい。

市長 研究・検討していきたい。



新田 和明
(無所属)

この項目について質問しました
①森林整備について
②税外収入について (17:26)
③企業誘致について (24:26)



市長 市役所内のアイデアを募りながら、そういった組織体制までもっていけるか検討していきたい。

市長 企業誘致について、本市で働くスタッフと家族を丸ごと誘致する政策を展開していく考えは。



山本 数博
(無所属)

この項目について質問しました
① 地方創生交付金について
② 社会体育の推進について (6:08)



山本 地方創生交付金を利用したまちづくりを、市長の企画で実施する考えはないか。

市長 現在、新年度予算の編成に入っており、取り組む中でこの交付金が使えるものがある。しっかりと利用したい。

市長 できるものはないという思いはあるが、今即座にやるところにはない。教育委員会等とも連携しながら考えていきたい。

山本 向原高校の存続を見据えたスポーツの普及は出来ないか。

市長 ここ数年のうちにセールスポイントとして打ち出せる可能性のあるスポーツであることが必要。そういう意味ではハンドボールの可能性が高いと捉えている。中学校との合同練習などの取り組みをさらに広げていきたい。

山本 三次市や廿日市市では、スポーツを主体としたまちづくりを行っているが、行政主導で社会体育の推進によるまちづくりは出来ないか。具体的には、陸上競技・バトン・チャリレーディング・ジャズダンス・ヨガ・太極拳など。

社会体育の推進について



向原高等学校



金行 哲昭
(無所属)

この項目について質問しました
① 令和7年度当初予算編成について
② 市長との対話集会(12:33)



金行 市の厳しい財政状況を直視し、事業の取捨選択をするなど危機感を持ち客観的な事実に基づく協議検討が必要と考えるが。

市長 全ての事務事業についてヒアリングを実施し、課題を洗い出して協議検討を行う。

市長との対話集会について

市長 (中学校統合についての) 対話集会を実施されたが、所見は。

市長 予算査定中の為、具体的にお伝えできないが、検証を行いながら良いものは継承し、課題のあるものは改める。

市長 判断する材料にしたいと思いついた。頂いた意見を基に取るべき方向を判断したい。

金行 3月にはある程度の筋道を出すのとだが。

市長 総合教育会議等を踏まえ、今年度中には方向性を出す。

市長 財政健全化計画に基づき、ゼロベースで不要な歳出を抑え、歳入を増やせるものは増やすよう取り組む。

金行 新たに新規事業を行う方針はあるか。



市長との中学校統合についての対話集会の様子



南澤 克彦 (無所属)

この項目について質問しました
①次世代リーダー育成事業
②不登校の支援(31:28)



南澤 所信表明に「不登校等支援の体制整備」とあるが具体的に

を受けやすい
③他地域からの移住も期待できるなど利点があるが。

南澤 不登校に限らず「主体的な学び」と言うが学びの主導権は子どもにない状況だ。

市長 ①教育支援センターとフリースクールの連携

市長 中学校統合で大規模校になると不登校の増もありうる。統合を進めるようになれば、多様な学び場を保障する意味で考えなくては

教育長 主体的な生き方ができる公教育を目指し引き続き努力をしていきたい。

②教育支援センター支援員の学校訪問
③教育支援センターによるオンライン支援
④フリースクール等への補助金交付を検討中だ。

南澤 体制整備の一案として「学びの多様化学校」がある。

南澤 不登校に限らず「主体的な学び」と言うが学びの主導権は子どもにない状況だ。

①学校教育法施行規則の規定によらない教育課程を編成することができ、柔軟な教育が可能
②文科省は各都道府県1校配置を掲げ、支援



吉田町に開設されたフリースクール「YOLO」



小松かすみ (無所属)

この項目について質問しました
①青少年育成について
②子育て支援(43:21)



小松 向原町で長年続いた特色ある「青少年の声を聴く会」の再算化と支所に事務局を置く考えは。

小松 アイデアを参考に行事等考えたい。

間帯延長希望の割合は。福祉保健部長 朝7時半からの開所希望は全体の41・2%。

市長 教育委員会がその事業目的を継承し新しい事業を検討中。補助金の予算化、支所へ事務局設置は難しい。振興会等で特色ある事業の推進を行うのも一つの手。

小松 アンケート調査で放課後児童クラブの「開所時間を延長してほしい」と回答した割合は。

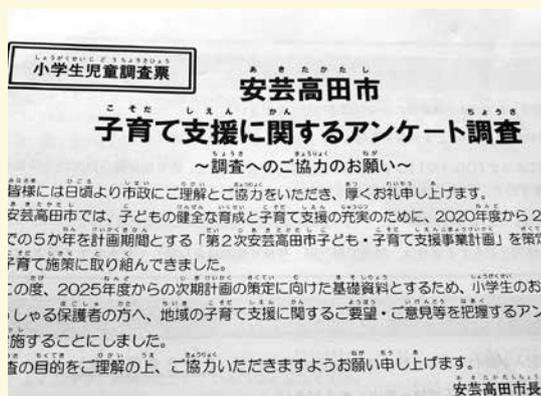
小松 子育て支援、就業支援ということでの市長の考えは。

小松 例え「日本語スピーチコンテスト」といった多文化共生推進事業と青少年育成事業を合わせた新しい取り組みを全市的に検討する考えは。

市長 22・8%。

市長 人員等もあり、この場で返事ができない。

市長 多文化共生に力を入れていくべきだと思ふ。担当課とも色々



昨年2月29日回答期限で実施した『安芸高田市 子育て支援に関するアンケート調査』



熊高 慎二 (無所属)

この項目について質問しました

- ① お太助フォンの今後について
- ② 市長定例記者会見について (19:48)



熊高 機器更新に当たっての課題について伺う。

熊高 お太助フォンに頼らざるを得ない方への配慮は。

市長 急速な情報化の進展により、1人が1台スマホを持ち、外出先でも情報のやり取りができる時代になっている。行政情報の伝達先として、様々な媒体を想定して対応できるようにする必要がある。

熊高 市の財政的な負担は。

企画部長 機器の更新自体については、市の負担はない見込み。利用者負担の部分は、収入の少ない方に対しての補助金を検討している。



更新時期にきているお太助フォン

市長記者会見について
熊高 重要な施策を毎月説明する考えは。

市長 丁寧で分かりやすい記者会見、情報発信に努めていきたい。提案内容について、検討して今月からの記者会見で生かしていきたい。



益田 一磨 (無所属)

この項目について質問しました
① YouTubeにおける市公式チャンネルについて

- ② 議員定数の削減について (30:39)



益田 YouTubeの切り抜き転載禁止について、市のチャンネル登録者数は全自治体で1位の実績がある。

益田 検討の余地がないとのこと。例えば、私自身が一般質問の動画を、自分自身で字幕をつけ、カットして見やすい形で提供することも、議員にできる

律で禁止をするという方針か。

人口比率から見ても異例。登録者数が増えた要因に、切り抜き動画の黙認も大きかったのでは。今後特例を認めず、いかなる編集や転載動画も、全て禁止される考えか。

「見える化」のひとつと考える。しかし特例なく禁止の状態であれば、議員が行う切り抜きに対して、市が一律で禁止をするという方針か。
市長 著作権は市にあるが、議会公式チャンネルの運用については、議会側で承認されれば、大丈夫だと思う。

市長 メリットはあったが、差別的、不適切なコメントの排除はすべきと考え、コメント欄の閉鎖を決めた。切り抜き動画に対するコメントも同様、動画の複製、転載も禁止。現段階で方針は変えない。



令和6年第4回定例会(12月) 定例会一般質問 益田一磨議員(12月17日)



議会公式 YouTube の現在。コメント欄は閉鎖されている。



山根 温子 (無所属)

- この項目について質問しました
- ①市の地域医療について
- ②人口急減対策について (18227)
- ③市長としての災害対応について (28336)



山根 市の地域医療については、市内唯一の総合病院である吉田総合病院を核として医療体制を確保することとだが、吉田総合病院の現状への受け止めは。

山根 看護職などの確保に向けた対策は。

和2年施行。この事業協同組合制度に向けた考えは。

市長 看護師の雇用継続に向け支援できる取り組みを検討。

市長 求人ニーズと仕事を求める人のニーズの双方の課題を解決し、地域の活力を生む可能性があると評価。地域事業者から設立希望が出た場合、制度に基づいた財政支援を行う。

人口急減対策について

山根 地域人口急減に対処する特定地域づくり事業の推進に関する法（人口急減法）が令

た。

山根 今後に向けて、吉田総合病院に何を求め、そのために何が必要か。

市長 核としての病院と位置付け、できる限りの支援を考えていきたい。



地域の中核病院として住民の健康を守る JA吉田総合病院



佐々木智之 (無所属)

- この項目について質問しました
- ①2024年11月17日執行の市議会議員選挙について



佐々木 本市合併以来、過去最低の59・38%という投票率だった。投票率向上を目的とした具体的な施策は。

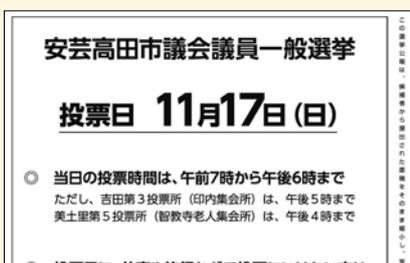
選挙期日は任期満了日前30日以内。特例として市長の任期満了日が、市議の任期満了日前90日以内の場合に同時選挙が可能だが、市長の任期から市議会議員の任期まで147日あり、90日を超えるため同日に行うことはできない。

選挙管理委員会事務局長 周知パンフレットや、市HPへの掲載などの発行を行っている。また、若年層の投票率向上を目的に、生徒議会を開催している。

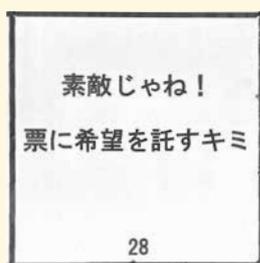
佐々木 有権者（期日前投票者）が立候補者の情報を取得する具体的な方法は。

選挙管理委員会事務局長 選挙公報が有効だと考える。

選挙管理委員会事務局長 両選挙ともに、任期満了による選挙の場合、



選挙公報



ポスター掲示板の啓発標語



秋田 雅朝 (無所属)

この項目について質問しました
① 財政健全化に向けての取組みについて
・歳入確保について
・歳出削減対策について
② 有害鳥獣対策について (30:24)



秋田 ふるさと納税の返礼品活用で農業振興を図ってはどうか。

市長 魅力ある返礼品の開発は大切で、情報を集めながら開発する手だてはないか考える。

秋田 ふるさと納税の使い道が7項目あるが、※CF型ふるさと納税を市長おまかせ事業の中に農業支援で募るという形を検討できないか。

市長 既に取り組まれているところがあるので、情報を取り入れながら市長お勧めにしているか、単独の項目で起こすか考えていきたい。

秋田 財政健全化方で、全ての事務事業において費用対効果の検証を行うとあるが、来年度の所見は。

市長 検証は、過年度分は事務事業評価シート、翌年度分は当初予算編成時の査定、中期的な財政見直しは健全化計画の見直しの際に行っている。

来年度は次期総合計画に挙げる事業を盛り込んだ形で見直す必要がある。

秋田 来年度の歳出削減対策についての見解は。

市長 全ての事務事業のヒアリングを実施し精査をして進めている状況。

※クラウドファンディング型

(1) 歳入確保対策	
区分	内容
受益者負担の適正化	公共施設使用料の受益者負担を見直し、維持管理費に対する利用者の適切な負担を求めます。
ふるさと納税の推進	ふるさと納税による寄附の取組みに力を入れ、2024年度当初予算並みの毎年3.5億円を目標とします。
基金の戦略的な活用	まちの魅力や市民生活向上のための財源として、特定目的基金を活用します。
その他の財源確保	税等の収納率の向上や普通財産の売却等を進め、自主財源の確保に努めます。

(2) 歳出削減対策	
区分	内容
公共施設の削減	「施設の廃止スケジュール」に基づき、更新費用や維持管理費の削減に取り組みます。
事務事業の見直し 内部管理経費の削減	全ての事務事業において、費用対効果の検証を行い、効果が薄いものについては取りやめ、必要な事業に対して財源を集中させます。第三セクターなどについては、経営状況の分析評価を行い、健全経営に向けた改革・改善を指導します。

財政健全化のための方策



児玉 史則 (無所属)

この項目について質問しました
① JA吉田総合病院の支援について
② 都市計画マスタープランについて (26:36)



児玉 吉田病院は約4億円の赤字。考えを伺う。

市長 看護師等人材の確保や財政的にも厳しい状況と認識。

児玉 非常に危機感を持つ。やむを得ないとお考えか。

市長 やむを得ないとはいえず、できる限り支援を続け、維持存続したい。

市長 物価高騰交付金等を活用し少しでも支援ができるよう検討したい。

児玉 看護部門の職員数減が損益に多大な影響。地元出身の看護師を増やすため奨学金制度が必要では。

市長 近隣市町を見て有効な奨学金制度を創設したい。

児玉 まちづくりの状況を積極的に説明する姿勢が必要では。

都市計画マスタープランについて

児玉 都市計画にある2042年の当市の姿を説明する必要があるのでは。

市長 都市計画に対する取組が少し足らなかつたかも。有効な方向へ持っていけるよう考えてみたい。



JA 吉田総合病院



熊高 昌三
(無所属)

この項目について質問しました
 ①今後の行財政運営について (35:25)
 ②令和5年度決算不認定について (39:52)
 ③中学校統合の今後の対話集会について (39:52)



熊高 対話集会をどのように受け止めたか。

市長 多様な意見を伺った。今年度中に総合教育会議等で方向性を出したい。

熊高 保護者の中には1校案での新たな教育に期待していた所、ゼ口に戻ったのかと懸念する意見もあったが。

市長 吉田1校か、吉田・高宮2校かの素案を出した上で、考えを整理する意味での対話集会だった。

熊高 甲田町では「地域に学校を残すべき、2校なら何で甲立に出来ないのか」という意見もかなりあったが。

市長 その様な意見も含め、責任を持ってしっかりと判断し方向性を定めたい。

熊高 教育委員会としての受け止めは。

教育長 教育委員会としては1校案で理解を求めていきたい。

熊高 中学校統合に絡めて(統合問題)を伺う。

教育長 教育は未来をつくる仕事であり、学校がないと地域が廃れるといった議論があまりにも強調されるとマインナスに働くのではと思う。大人が、市民が責任を持たないと、豊かな未来を保障できない。



対話集会の様様
上段：吉田会場 下段：甲田会場

議会の動き

10月～12月の主な活動状況

10月

- 18日 全員協議会
議会広報特別委員会
- 21日 総務文教常任委員会
- 22日 議会広報特別委員会
- 29日 議会広報特別委員会

11月

- 7日 議会運営委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 議会広報特別委員会
- 25日 新議員研修会
- 26日 新議員研修会
- 28日 臨時会

12月

- 2日 全員協議会
- 3日 臨時会
全員協議会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
予算決算常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会
- 4日 議会運営委員会
- 9日 総務文教常任委員会
協議会
- 11日 第4回定例会(開会)
全員協議会
総務文教常任委員会
議会広報特別委員会
- 12日 議会運営委員会
予算決算常任委員会
- 16日 一般質問
- 17日 一般質問
- 19日 産業厚生常任委員会
- 20日 総務文教常任委員会
協議会
総務文教常任委員会
全員協議会
議会広報特別委員会
- 24日 議会運営委員会
第4回定例会(閉会)

令和7年第1回定例会は2月下旬から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンやホームページでお知らせいたします。

専決処分した事件の承認

承認第8号

○令和6年度一般会計補正予算(第8号)

■概要

令和6年10月9日の衆議院解散による、衆議院議員選挙の実施を行うための補正予算を令和6年10月9日付で専決処分を行ったもの

補正額 27,846千円

承認

専決処分した事件の承認

承認第9号

○令和6年度一般会計補正予算(第9号)

■概要

令和6年11月の豪雨災害の災害査定を受けるため設計委託費用の補正予算を令和6年11月19日付で専決処分を行ったもの

補正額 5,000千円

(農業施設 5件、農道水路各1件)

承認

監査請求に関する決議

発議第4号

■概要

議長あてに、市民より16事業者の入札執行について、

1者による入札で設計額と落札額が1事業を除き全て同額となっており、執行方法に疑義があるとした調査要望の申し出があり、総務文教常任委員会が所管事務調査を行った結果、

- ① 協力隊員設置要綱に反する
- ② 事業執行が全て随意契約であることは財務規則や地方自治法に反する
- ③ 受託業者が契約どおり適正に支払いが行われているのか
- ④ 「入城500年記念デザイン業務」「スマートフォン教室開催支援業務」は参考見積がない中で設計しているが予定価格で落札している

この事務執行に問題はないのか、との疑義を生じたことから、議会において監査委員にその判断を求めるべきとの結論を受け、議会において監

査請求を行うこととしたもの

一 討 論

賛成討論

山本(数) 調査対象業務は

主に地域おこし協力隊の雇用に係る業務であるが、国の示した要綱に照らし逸脱した内容になっている。執行部は総務省に確認を得たとの理由で当該事業者が受注出来るよう環境を整えたという疑いが晴れない。その結果、4年にわたり当該事業者のみで入札し、すべて受注額が予定価格と同額という信じられない結果となっている。加えて、協力隊事業以外の業務においてもこの事業者が優先されて入札に参加し1事業を除き予定価格で落札している。

これらの状況から官製談合の疑いが晴れない。こうしたことから、業務の執行が国の要綱、市の要綱や財務規則との整合性や委託金

の執行状況など議会での是非を判断することが困難である為、監査委員に業務の執行の是非を求める事に賛成する。

可決



11/28
臨時会



総務文教常任委員会
所管事務調査報告書



調査要望書

芸北広域環境施設組合議会定例会開催

持続可能な適正処理を目指して

令和6年12月26日に芸北広域環境施設組合の令和6年第2回定例会が開催され、議案2件を審査し、いずれも原案の通り可決・認定した。

現状、ごみ焼却施設が老朽化しているため施設修費の増加と、突発的な故障が予測される。また施設経費(収集運搬経費、処分費、光熱費)が増加している。課題としては次期施設について検討し、今後のごみ処理事業の財政負担について考え、20年後の状況を考慮した施策が必要である。

議案

- ・ 令和5年度芸北広域環境施設組合歳入歳出決算認定について
- ・ 令和6年度芸北広域環境施設組合一般会計補正予算(第1号)

↓

認 定・可 決

**芸北広域環境施設組合
議会議員**

他 北広島町議会議員3名

佐々木 智之
浅 枝 久美子
山 根 温 子
金 行 哲 昭
石 飛 慶 久
他 北広島町議会議員2名

※議会運営委員に金行議員、山根議員

ごみの減量・再生利用を

安芸高田市では北広島町と共に、分別・リサイクルを推進、現在進めている地域回収拠点を拡大中。また地域



竹チップを利用した「グルグルコンポストバッグ」

での説明会や「きれいセンター」の見学会を今後も開催し、啓発活動を推進していく。
一般家庭では、竹チップを利用したコンポストバックを普及させ、生ごみの堆肥化を推進していく。

令和5年度決算

ごみ総処理量 11,331t(前年度比335t減少)

	歳入総額	歳出総額		
	7億5310万円	6億9374万円		
	(前年度比 3143万円増)	(前年度比 145万円増)		
歳入が前年度と比較すると3143万円の増となっている。財源不足分を財政調整基金から繰入していたものを令和4年度に引き続き市町負担金2167万円増額で対応したこと、ごみ処理手数料の値上げを実施し増収となったためである。			歳出が前年度と比較すると145万円の増となっている。主に財政調整基金への積立額の増加(1411万円)。減少した衛生費は一部の可燃性ごみを資源化委託から焼却処理へ転換したため、委託費用が減少したこと等による。	
【主な歳入】			【主な歳出】	
市町負担金 安芸高田市	3億4294万円(1104万円増)		総務費 財産管理費	1811万円(1411万円増)
北広島町	2億2107万円(1063万円増)		衛生費 委託料	3億4122万円(1194万円減)
ごみ処理手数料	1億4000万円(669万円増)		需用費 光熱費等	2億1383万円(1059万円増)

「燃えるごみ」指定ごみ袋変更

新しいごみ袋は、破れにくい材質(低密度ポリエチレン)のものを使用。「燃えるごみ(大)」の容量約40ℓを、「分別したけど燃やすすかないごみ(大)」の名称とし15%縮小して、約34ℓになった。なお、「小」と「ミニ」の袋は変更なし、燃えるごみ量の減量効果が期待される。



監査委員の意見

温暖化対策への取り組みは、一人ひとりの意識から。2050年のカーボンニュートラル(二酸化炭素排出量の実質ゼロ)を目指して、みんなで取り組む形を望む。

令和6年度
(4月~11月)

政務活動費収支報告

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。安芸高田市では月額30,000円が交付されます。

令和6年度政務活動費収支報告一覧表

(単位：円)

	氏名	収入	支出額	残余金 (返納額)	執行率	支出内訳							
						調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費
1	南澤 克彦	240,000	138,877	101,123	57.87%	0	57,606	16,229	9,100	0	0	0	55,942
2	田邊 介三	240,000	46,604	193,396	19.42%	0	13,740	16,228	16,636	0	0	0	0
3	山本 数博	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	新田 和明	240,000	31,200	208,800	13.00%	0	0	0	0	0	0	0	31,200
5	芦田 宏治	240,000	227,231	12,769	94.68%	0	122,112	0	0	0	0	0	105,119
6	山根 温子	240,000	176,270	63,730	73.45%	0	128,270	0	0	0	0	0	48,000
7	先川 和幸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	石飛 慶久	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	山本 優	240,000	73,410	166,590	30.59%	35,010	0	0	0	0	0	0	38,400
10	熊高 昌三	120,000	0	120,000	0.00%	0	0	0	0	0	0	0	0
11	穴戸 邦夫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	秋田 雅朝	240,000	207,932	32,068	86.64%	0	163,040	0	0	0	0	0	44,892
13	金行 哲昭	240,000	29,540	210,460	12.31%	0	0	0	0	0	0	0	29,540
14	児玉 史則	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	大下 正幸	240,000	28,492	211,508	11.87%	0	0	0	0	0	0	0	28,492
16	水戸 眞悟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	小松かすみ	120,000	32,610	87,390	27.18%	0	0	0	5,000	0	0	21,780	5,830
政務活動費 支出額		2,400,000	992,166	1,407,834	41.34%	35,010	484,768	32,457	30,736	0	0	21,780	387,415

【支出費目】

調査研究費…議員が行う市の事務、地方財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費

研 修 費…議員が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費

広 報 費…議員が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費

広 聴 費…議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費

要請・陳情活動費…議員が要請及び陳情活動を行うために必要な経費

会 議 費…議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費

資料作成費…議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

資料購入費…議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費



※すべての支出について、領収書等で確認しています。

※ [市ホームページ](#) → [安芸高田市議会](#) のページにも掲載しています。

議会の傍聴に行ってみよう

本会議および委員会は

どなたでも

傍聴することができます。

● 受付時間 午前9時～

● 受付場所

本庁第2庁舎3階議会事務局

● 受付方法

傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入後、傍聴券をお渡しします。

● 傍聴定員

約40席（先着順）



気軽に
来てみて
ください！



傍聴席から見た議場



議会事務局で記帳



傍聴席入口にはスロープがあります



親子でも傍聴できる防音室（左窓部分）



公式
マスコットキャラクター
「たかたん」

編集後記

11月の市議会議員選挙後初めての定例会が12月に行われました。新たに30代～70代までの幅広い年齢層で構成された議員16名のうち、新人3名を含む13名が一般質問に立ち、新生安芸高田市議会が始動しました。

当委員会の新委員長として、新メンバーと共にこの議会だよりの編集、校正作業を初めて行いました。議会を身近に感じていただきたいという想いで、裏表紙に「傍聴の案内」や「たかたん」を掲載し、少しだけ変化を加えてみました。女性の視点も大切に、「暮らしと政治を近くする」ことが出来るよう、議会だよりのリニューアルも考えております。皆様のご意見をお寄せください。今後とも宜しくお願いします。

（小松 かすみ）

〈発行責任者〉

議長 石飛 慶久

〈議会広報特別委員会〉

委員長 小松かすみ

副委員長 新田 和明

委員 益田 一磨

佐々木智之

浅枝久美子

山本 数博



あきたかた
議会だより

百万一心、未来へつなぐ安芸高田市

第24号2025（令和7）年2月15日発行 発行所/安芸高田市議会

編集/安芸高田市議会広報特別委員会

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地 TEL (0826) 42-5621 FAX (0826) 47-0250